

# 人権問題に関する市民意識調査 における質問項目について

## 【※人権問題に関する市民意識調査の概要（予定）】

- 調査対象 … 満 18 歳以上の個人 3,000 人
- 調査内容 … 令和 2 年（2020 年）11 月に大阪府が実施した「人権問題に関する府民意識調査」等を参考に本市の設問内容を設定
- 実施時期 … 令和 3 年（2021 年）6 月
- 回答方法 … 郵送による回答、またはオンラインによる回答
- 質問内容 … 下記及び次頁以降のとおり

## <質問項目>

1	いろいろな人権問題の意識や考え方について
2	住まいのことや就職、結婚相手・パートナーに対する意識や考え方について
3	ここ 5 年間の人権をめぐる法律や条例の施行、及びこれらに関する人権問題について
4	インターネットにおける人権侵害の問題について
5	人権や差別に関する考え方について
6	人権問題の解決に向けた行政の取組みについて
7	人権について学ぶための機会について
8	人権侵害について
9	回答者自身のことについて

## 1. いろいろな人権問題の意識や考え方について

### 問 いろいろな人権問題の認知状況（知っているかどうか）

(1)	女性の人権問題（例）役割分担意識、就労での不当な扱い、DV
(2)	子どもの人権問題（例）いじめ、虐待、体罰、児童ポルノ
(3)	高齢者の人権問題（例）介護放棄、虐待、悪質商法・特殊詐欺の被害
(4)	障害者の人権問題（例）店舗でのサービス拒否、就労での不当な扱い、虐待
(5)	部落差別（同和問題）（例）身元調査、結婚や交際における周囲の反対
(6)	外国人の人権問題（例）入居拒否、就労での不当な取扱い
(7)	HIV 陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題 （例）日常生活での不当な扱い、宿泊拒否
(8)	こころの病（うつ病、依存症など）に関する人権問題 （例）風評による先入観や偏見、プライバシーの侵害
(9)	犯罪被害者やその家族の人権問題 （例）無責任なうわさや誹謗中傷、プライバシーの侵害
(10)	ホームレスの人権問題（例）嫌がらせ、暴力
(11)	性的マイノリティの人権問題（例）同性パートナーとの入居拒否、 <u>アウティング</u>
(12)	職業や雇用をめぐる人権問題（例）差別待遇、職業や職種に対する偏見
(13)	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント
(14)	インターネットによる人権侵害（例）誹謗中傷、差別を助長する有害情報
(15)	<u>ヘイトスピーチ</u>
(16)	新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題 （例）日常生活での不当な扱い、宿泊拒否

### 問 特に人権上の深刻な問題と考えるもの（(1)～(16)のうちのどれか）

○上記の他にも以下のような人権問題があります。

- ・北朝鮮による拉致問題のこと
- ・個人情報保護のこと
- ・アイヌの人々のこと
- ・刑を終えて出所した人のこと
- ・人身取引

○比較的新しい用語（下線部の性的マイノリティ、アウティング、ヘイトスピーチなど）には、注釈を掲載する予定です。

問 各事例に対する人権上の問題の有無（あるかないか）

	分野	事例
(1)	女性	恋人や配偶者・パートナーの携帯電話やスマートフォンの通信履歴を見る
(2)	子ども	しつけのためにと子どもをたたくなど体罰を行う
(3)	高齢者	家族が不在の際、介護が必要な高齢者を家から出られなくする
(4)	障害者	視覚障害者との会話ではテレビや映画、風景などは意識して話題にしないようにする
(5)	部落差別 (同和問題)	結婚する際、興信所や探偵業者などを使って相手の出自を調べる
(6)	外国人	同じマンションに住む外国人とは生活文化が異なるので、付き合わないようにする
(7)	HIV ハンセン病	HIV陽性者やハンセン病回復者とは一緒に食事や入浴をしない
(8)	こころの病	こころの病のある人には関わらないようにする
(9)	犯罪被害者	痴漢の被害者に「あなたにも問題があったのではないか」と言う
(10)	ホームレス	公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去る
(11)	性的マイノリティ	職場で性的マイノリティであることを公表している人と席が隣になることを嫌がる
(12)	セクハラ	職場で顔を合わせるたびに「まだ結婚しないのか」と言う
(13)	パワハラ	人前で部下を長時間にわたり大声で叱る
(14)	インターネット	Twitter や Facebook など、インターネットのサイトに他人の誹謗中傷を書き込む
(15)	ヘイトスピーチ	街頭などで、特定の国の出身の人々について、「日本 から出て行け」と言う
(16)	新型コロナ ウイルス	新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従 事者等やその家族であることを理由に、交通機関の利用や保育所の受入れなどを断る
(17)	個人情報	災害時に支援が必要な人のリストを作成するため、自治会の役員が住民に緊急時連絡先や疾病、障害の有無などを尋ねる
(18)	その他	ニートや引きこもりの人に「怠けていないで働きなさい」と言う

○人権問題の分野毎に具体的事例（基本的に問題とされる行為）を挙げています。

## 2. 住まいのことや就職、結婚相手・パートナーに対する意識や考え方について

### 住まいのこと

#### 問 家を買ったり借りたりする際に重視すること

1	都心部、最寄り駅や幹線道路へのアクセス
2	公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況
3	日照・眺望など
4	周辺の住宅の状況（戸建て/集合、持ち家/賃貸など）
5	地域のイメージ
6	校区の教育水準や学力レベルの評判
7	近隣に低所得者が多いと言われていないか
8	近隣に外国籍市民が多いと言われていないか
9	近隣に同和地区があるとされていないか
10	その他（ ）

### 就職のこと

#### 問 採用面接における質問で、人権上問題があると思うこと

1	国籍
2	本籍・出生地
3	家族の状況（家族構成、職業、続柄、健康、地位、学歴、年収、資産など）
4	住宅の状況（住宅の種類、間取り、部屋数、近隣の施設など）
5	生活環境、家庭環境
6	宗教
7	支持政党
8	人生観や生活信条
9	尊敬する人物
10	労働組合、学生運動など社会活動の経験
11	購読新聞、雑誌、愛読書など

## 結婚相手・パートナーのこと

問 結婚相手など、パートナーを決める（決めた）際に、その人について重視する（した）こと

1	人柄や性格	10	離婚歴
2	趣味や価値観	11	本籍・出生地
3	仕事に対する理解と協力	12	国籍、民族
4	家事や育児に対する理解と協力	13	相手やその家族が障害者かどうか
5	経済力	14	相手やその家族の宗教
6	学歴	15	ひとり親家庭かどうか
7	職業	16	同和地区の出身であると言われていないかどうか【注】
8	家族構成	17	性的指向
9	家柄	18	その他 ( )

- 「住まいのこと」、「就職のこと」、「結婚相手・パートナーのこと」について、それぞれ意見や考え方を聞きます。
- 「同和地区」については、注釈を掲載する予定です。

### 3. ここ5年間の人権をめぐる法律や条例の施行、及びこれらに関する人権問題について

#### 障害者のこと

問 障害のある人に関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思うか

(1)	道路の段差解消、エレベーターの設置など、障害のある人が暮らしやすい配慮が足りないこと
(2)	仕事に就く機会が少なく、また、障害のある人が働くための職場の環境整備が十分でないこと
(3)	障害のない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと
(4)	障害のある人が賃貸住宅などへ入居することが困難であること
(5)	病院や福祉施設において劣悪な処遇や虐待を受けたりすること
(6)	音声案内や字幕など、情報を分かりやすい形にして伝える配慮が足りないこと
(7)	障害があることを理由とした宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること
(8)	障害のある人の意見や行動が尊重されないこと
(9)	スポーツ活動や文化活動への参加に対する配慮がなされていないこと

○下記法令の整備等を踏まえた質問です。

※主な関連法令（過去5年以内に施行されたもの）

障害者差別解消法（平成28年施行）

大阪府障がい者差別解消条例（平成28年施行）

## 外国人のこと

問 日本に居住している外国人に関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思うか

(1)	就職や仕事の内容・待遇などにおいて不利な条件に置かれていること
(2)	賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること
(3)	宿泊施設、店舗等への入店や施設の利用を拒否されること
(4)	結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けること
(5)	子どもに対して、自国の文化や生活習慣に合った教育が行われにくいこと
(6)	文化や生活習慣の違いを理由とする嫌がらせを受けること
(7)	病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと
(8)	特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動（ヘイトスピーチ）があること
(9)	政治に意見が十分反映されないこと

○下記法令の整備等を踏まえた質問です。

※主な関連法令（過去5年以内に施行されたもの）

ヘイトスピーチ解消推進法（平成28年施行）

大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例（令和元年施行）

## 部落差別のこと

問 部落差別（同和問題）に関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思うか

(1)	就職の時や職場で不利な扱いを受けること
(2)	地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること
(3)	身元調査をされること
(4)	行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること
(5)	インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること
(6)	インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること
(7)	(1)～(6)のほか、差別的言動をされること
(8)	同和問題を口実とする企業や官公庁等に対する不当な要求（えせ同和行為）が行われること

○下記法令の整備等を踏まえた質問です。  
※主な関連法令（過去5年以内に施行されたもの）  
部落差別解消推進法（平成28年施行）



## 性的マイノリティのこと

問 性的マイノリティに関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思うか

(1)	性的マイノリティへの理解や認識が不足していること
(2)	学校や職場などで嫌がらせやいじめを受けること
(3)	就職の時や職場で不利な扱いを受けること
(4)	性的マイノリティに対する相談や支援体制が十分でないこと
(5)	賃貸住宅などへの入居を拒否されること
(6)	宿泊施設、店舗等への入店や施設の利用を拒否されること
(7)	本人が望んでいないのに、自らの性的指向や性自認を他者に広められること（アウティング）
(8)	パートナーがいても、婚姻と同等に扱われないこと

○下記法令の整備等を踏まえた質問です。

※主な関連法令（過去5年以内に施行されたもの）

大阪府性の多様性理解増進条例（令和元年施行）

## 法律や条例のこと

### 問 法律や条例等の認知状況について（知っているか）

(1)	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）＜平成 28 年（2016 年）4月施行＞
(2)	本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）＜平成 28 年（2016 年）6月施行＞
(3)	部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）＜平成 28 年（2016 年）12 月施行＞
(4)	大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例（大阪府障がい者差別解消条例）＜平成 28 年（2016 年）4月施行＞
(5)	大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例（大阪府性の多様性理解増進条例）＜令和元年（2019 年）10 月施行＞
(6)	大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例（大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例）＜令和元年（2019 年）11 月施行＞
(7)	大阪府人権尊重の社会づくり条例 ＜令和元年（2019 年）10 月改正＞
(8)	大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例（大阪府部落差別調査等規制等条例）＜平成 23 年（2011 年）10 月改正＞
(9)	枚方市人権尊重のまちづくり条例 ＜平成 16 年（2004 年）3月施行＞
(10)	枚方市男女共同参画推進条例＜平成 29 年（2017 年）3月改正＞
(11)	ひらかた・にじいろ宣言（パートナーシップ制度導入等）＜平成 31 年（2019 年）3月＞

人権三法、府人権三条例及び枚方市の人権関係条例等の認知度を確認する質問です。

#### 4. インターネットにおける人権侵害の問題について

問 インターネットに関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思うか

(1)	他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること
(2)	フェイクニュース（真実ではない情報）や誤った情報が拡散されること
(3)	SNS（LINE や Twitter など）による交流が犯罪を誘発する場となっていること
(4)	書き込んだ人を特定するための手続きに時間を要すること
(5)	インターネットが悪質商法の取引の場となっていること
(6)	子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生していること
(7)	差別を助長するような情報が掲載されること
(8)	わいせつな画像や残虐な画像などの情報が掲載されること
(9)	捜査対象となっている未成年者の名前・顔写真が掲載されること
(10)	問題のある情報がインターネット上に掲載されると、削除や訂正に時間がかかること

○インターネットを悪用した人権侵害が大きな社会問題となっていることを踏まえた質問です。

## 5. 人権や差別に関する考え方について

問 人権や差別をめぐるいろいろな考え方があるが、あなたの考えに最も近いのはどれか

(1)	差別は人間として恥すべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならなければならない
(2)	差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ
(3)	差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である
(4)	差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い
(5)	差別をなくすために、行政は努力する必要がある
(6)	どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ
(7)	差別を受けてきた人に対しては、行政の支援が必要だ
(8)	差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる
(9)	差別は法律で禁止する必要がある
(10)	差別を受けた人との交流や協働を進めていくことは重要である
(11)	人権問題とは、差別を受ける人の側の問題であって、自分には関係がない

○(9)～(11)については、差別は法律で禁止することに対する考え方や、当事者(団体)や支援団体との交流・協働を図ることについて、また、さまざまな人権問題を自分自身にかかわる身近な問題として意識しているかについての意識の把握のための質問です。

## 6. 人権問題の解決に向けた行政の取組みについて

### 問 人権問題の解決に向けた次のような行政の取組みについて

(1)	街頭での啓発や啓発ポスターの掲示
(2)	新聞・テレビ・ラジオによる広報
(3)	広報誌、啓発冊子、教育教材
(4)	講演会・研修会【注1】
(5)	ホームページによる情報発信
(6)	人権相談窓口の開設【注1】
(7)	戸籍謄本や住民票を第三者に交付した時に事前に登録した本人にお知らせする制度(本人通知制度)【注2】

【注1】枚方市では、講演会などの人権啓発事業や、人権相談事業を特定非営利活動人枚方人権まちづくり協会に委託を行って実施しています。

【注2】第三者による不正請求の早期発見や事実関係の早期究明につなげるための制度です。窓口は市役所市民室

## 7. 人権について学ぶための機会について

問 学校で、次にあげる人権学習を受けたことがあるか

(1)	子どもの人権問題
(2)	障害者の人権問題
(3)	日本に居住している外国人の人権問題
(4)	部落差別（同和問題）
(5)	性的マイノリティの人権問題
(6)	HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題
(7)	その他（ ）

問 人権問題への理解を深めるため、講演会等のテーマとして取り上げてほしいものがあるか

1	女性の人権問題	2	子どもの人権問題	3	高齢者の人権問題
4	障害者の人権問題	5	部落差別（同和問題）	6	日本に居住している外国人の人権問題
7	HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題	8	こころの病に関する人権問題	9	犯罪被害者やその家族の人権問題
10	ホームレスの人権問題	11	性的マイノリティの人権問題	12	職業や雇用をめぐる人権問題
13	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント	14	インターネットによる人権侵害	15	ヘイトスピーチ
16	新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題	17	その他（ ）	18	特になし

<講演会等のテーマについて>

2 ページの人権問題に (17) と (18) を追加したものです。

## 8. 人権侵害について

問 最近5年間に人権上問題と思われる言動を受けたり、身近で見聞きしたりしたことがあるか  
それはどのような人権問題に関するものだったか

1	女性の人権問題	2	子どもの人権問題	3	高齢者の人権問題
4	障害者の人権問題	5	部落差別（同和問題）	6	日本に居住している外国人の人権問題
7	HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題	8	こころの病に関する人権問題	9	犯罪被害者やその家族の人権問題
10	ホームレスの人権問題	11	性的マイノリティの人権問題	12	職業や雇用をめぐる人権問題
13	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント	14	ヘイトスピーチ	15	新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題
16	その他（ ）				

問 前問で、複数の「○」がある場合は、いちばん心に残っているものは

また、それはどのような内容だったか

1	差別的な扱い（人種・信条・性別・社会的身分・出生地等により、職業・雇用や結婚等の社会生活の上で不平等 又は不利益な扱いをされた）
2	学校、地域における嫌がらせやいじめ
3	差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ
4	育児や介護の放棄・放任
5	虐待
6	暴力行為、脅迫、強要
7	DV（配偶者やパートナー間における暴力（精神的・経済的・社会的・子どもを巻き込む・性的も含む））
8	職場におけるハラスメント（セクハラ・パワハラ等）
9	プライバシーの侵害
10	インターネットによる人権侵害
11	その他（ ）
12	答えたくない

問 それはあなた自身に対するものでしたか。

「はい」の場合は 問A、Bへ、 「いいえ」の場合は問C、Dへ

問A どう対応したか

1	抗議、反論した
2	相談した（どこに、誰に： ）
3	訴えた（どこに： ）
4	我慢した
5	その他（ ）

問B 最終的に解決したか

1	解決した
2	解決しなかった
3	その他（ ）

問C どう対応したか

1	いけないことだと指摘した
2	いけないことだと分かってもらおうとした
3	相談（通報）した（どこに・誰に： ）
4	同調した
5	話をそらした
6	何もしなかった

問D そのような問題（事案）は、どのように対応したらよいと考えるか

1	さまざまな人権問題をめぐる誤解や偏見、差別をなくし、一人ひとりの人権意識を高めるために、行政が正しい知識と理解を深める人権啓発に努める
2	人権侵害を受けた当事者が救済されるよう人権課題に対応する専門の相談機関・相談窓口を拡充する
3	人権侵害を受けた当事者自らが解決策を講じる
4	発達段階に応じた学校における人権教育や、地域や職場における人権研修を充実する
5	特に何もしなくてよい
6	その他（ ）

○人権侵害事象への接触や、その対応に係る質問です。



## 9. 回答者自身のことについて

### 問 性別について

1	男性	2	女性	3	男性・女性 では答えら れない	4	答えない
---	----	---	----	---	-----------------------	---	------

### 問 年齢について

1	18、19 歳	2	20～24 歳	3	25～29 歳
4	30～34 歳	5	35～39 歳	6	40～44 歳
7	45～49 歳	8	50～54 歳	9	55～59 歳
10	60～64 歳	11	65～69 歳	12	70～74 歳
13	75～79 歳	14	80 歳以上		

### 問 日常的にもっとも利用するメディアについて

1	新聞	2	書籍、雑誌
3	テレビ	4	ラジオ
5	インターネット (パソコン・スマートフォン)	6	その他 ( )

### 問 人権問題や今後の人権教育・啓発についてご意見・ご要望（自由記述）

--

アンケートはこれで終わりです。長時間のご協力、誠にありがとうございました。

○性別の問は、令和元年度に実施した本市男女共同参画計画に係る調査時の記載内容と同様です。

○性別及び年齢は、調査結果の分析のために伺います。

○自由記述欄は、レイアウトの調整において、十分にスペースをとる予定です。